

郷土芸能民具展など多彩な文化祭

菊花香る十一月三日「文化の日」に、横越村公民館で菊花展、民俗資料展、郷土芸能大会、お茶会、村連青の手芸展、農産物品評会、花木即売会など多彩な行事が開催された。

素晴らしい本村の 菊も絶賛

会場の講堂は、菊の香りにいっぱい。文字どおり「文化の日」に花を添えた。審査にあたった見田、長沼両先生は、横越村の菊花はいつも素晴らしい出来ばえと絶賛。その秘訣は？と逆に聞き返すほど。しかし、小菊部門では技術的にいま一步の評。



菊花展総合成績

- 一位 村長賞
- 二位 高橋 達栄(横越)
- 三位 島原 倉造(沢海)
- 四位 教育委員会委員長賞 加藤 正喜(木津)
- 五位 農業委員会会長賞 伊藤千代吉(横越)

- 六位 農業協同組合長賞 小川 勘一(横越)

八十七才の
長谷部さん元気に
笛吹く、急がれる
後継者づくり

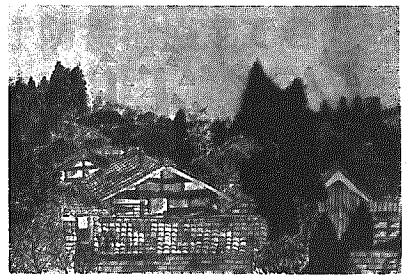
絶好の文化祭日和で、初の野外郷土芸能大会。郷土芸能は近年、青年によつてうけつがれているが、心配なのは、笛、太鼓の後継者が少ないこと。横越中部落の神楽舞は、指導者がいなくて十数年前からテレホンサークルでの舞子。川根谷内のしし舞も八十七才の長谷部幸吉さんがた一人の笛吹きである。



連青チャリティー即売会

一方、団七、伊勢踊り、練踊りなど数多い郷土芸能も、女子方や踊りの指導者が高令になり、若い後継者づくりが急がれる。

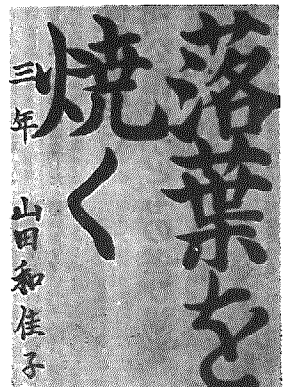
川の民具は、今は貴重な村の文化財である。ところが、公民館では、村民のみさんから沢山の民俗資料のご寄贈をいただいているところですが、現在の公民館施設では、資料を保管する取組、住民の学習に供する展示室がないところに悩んでいる。



横越中三年 茅原吉信君

こくめいに描きこんだ努力作品である。屋根瓦やフロック塀、いろいろな樹木など、線描やタッチがよく描きわけている。しかし、全体としてやゝ説明的で堅い感じがする。

ともサロン



三年 山田和佳子

筆法も形もがっちりとして正確に書けている無難な作品といわれよう。ならばもっと筆脈(線の続きぐあい)をのみにて一気に書くともっと字がいきいきして。その点名前とはとてもよくできている。(横越中学校長 江口正巳)

もっと秋の色調に注意して気象にのびのび表現してほしい。(横越中学校長 江口正巳)

生活のお役に立ちます テレホン案内情報

ダイヤルを廻せば、ニュース、交通情報、育児、料理案、音楽などホットな電話情報。一五〇秒の録音テープの提供が流れます。これが今、好評を得ているものと思えます。ご利用ください。テレホン案内サービスで。

＜テレホン案内情報＞

案内項目	提供者	電話番号
(新潟案内)		
ニュース案内	N B N	0252-43-1111
道路情報	県警本部	0252-28-5252
列車案内	新潟駅	0252-47-4141
百貨店案内	N B N	0252-42-2222
育児案内	森永乳業	0252-45-0371
ミュージック案内	N B N	0252-43-1313
催し物案内	◇	0252-43-1155

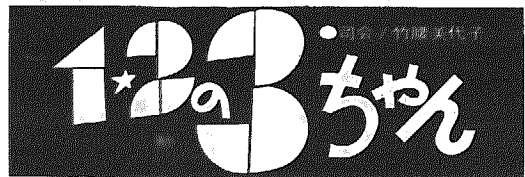
家庭教育相談事業

相談事業の内容

- ①風せん通信による幼児



②地域巡回相談事業。
③テレビによる幼児教育と相談事業。(1・2の3ちゃん)



●放送時間/BSNテレビ 毎週日曜日午前9:30~9:45

※再放送 毎週水曜日午前11:20~11:35

新刊図書紹介

- けつぱり先生 山口 徹
- 事実と幻想 金田雄次
- れくいえむ 藤子
- 僕たちの失敗 石川達三
- 中国と中国人 岡田武彦
- 真珠の誘拐 森村誠一
- 断 大鶴へ太郎
- 雪舞 糸山英太郎
- どっこいシ 渡辺洋一
- おが道の関夜 水上 勉
- 形勢 松本清張
- びらめんね 梶山季之
- 海市 福永 武
- 勝遊舟(下) 子母沢寛

トップ写真の説明

鶴後平野のど真中で渡船があることは、めずらしいと思われるが……。沢渡船が阿賀の川によって分断されたのは、大正五年からじりめられた阿賀改修工事によってである。このため、対岸の焼山に大耕地をもつようになり、沢渡の住民は、焼山移住の一代決起を余儀なくされ、大正十二年、十九戸が移転を開始した。現在の焼山部落は、世帯数三四人、人口一七一人。沢渡の渡し舟がはじめられたのは、焼山移住の直後、渡し舟の維持管理は、沢渡部落で行われていた。昭和三十四年渡し舟が機械船になってから村営化された。沢渡の人たちは、農作業で焼山の人たちは、沢渡へ用事し、また焼山の子どもたちは、現在小学生十一人、保育園児五人は、通学、通園でこの渡し舟を利用してはいるが、自動車普及でかつてほどの利用はない。

冬冬になると、焼山の子どもたちは、通学の危険性から、昭和三十四年から四十五年まで毎冬だけの冬季分岐が開設されたことあった。



横越村の生活と文化は、阿賀の川と密接な関係をもっている。阿賀の川水銀中毒事件や産業構造、生活様式が変わったため、鮭網・川魚と、川木とり、砂利とりなど阿賀の

なつかしい鮭網 川木とり砂利とり の民具展

川木とり、砂利とりなど阿賀の民具は、今は貴重な村の文化財である。ところが、公民館では、村民のみさんから沢山の民俗資料のご寄贈をいただいているところですが、現在の公民館施設では、資料を保管する取組、住民の学習に供する展示室がないところに悩んでいる。

